

1 研究主題

お金や金融の様々なはたらきを知り、それを通じて自分の暮らしや社会について考え、自分の生き方や価値観を磨きながら、主体的に行動するための資質・能力の向上を行う教育の実現

2 研究の背景

現在の私たちの日常生活に貨幣(お金)は不可欠であり、子どもたちにとっても身近なものである。変化が激しく、予測困難な時代においても、子どもたちが社会や金融のしくみを理解し、たくましく生きる力を養いたい。

子どもたちの将来を見据えて、学校教育の一部に、お金を手がかりにした授業を取り入れることで、金融に関する知識や理解を深め、実践力を高めたいと考えた。

お金ってすごく大事だけど、わたしたちは将来、どうやってお金を手に入れたり貯めたりしたらいいのかな。



学校教育でも、お金に関する学習を効率よく行って生きる力を育みたい。

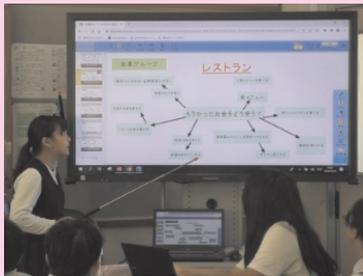


学習に取り入れよう!

3 研究の具体

1 発展的な学習

単元に1時間程度加えて実践



【6年社会：参勤交代で使ったお金が平和を作る！？】
参勤交代で使ったお金が、宿場町などを活性化させ、平和な時代につながることを発見する。

2 トピック教材開発

知っておくべき知識を教材化して実践



【お金を増やす方法③「お金を働いてもらう(銀行)】
複利の仕組みや効果を学ぶ。

3 本物に触れる体験

外部施設や外部講師を活用した金融教育の実践



【教室でにちぎん】
日本銀行本店、高松支店とのオンラインで、お札の発行や偽造防止の技術などを知る。

4 研究の検証研究の具体

- 「後で後悔しない買い物ができる」「お金の使い方や気をつけることが分かる」などの項目で肯定的な回答をした児童が5%以上増加。
- 「こんなことも金融教育につながるのか」「少し活動を変えるだけで金融教育をすることができる」と教員の意識が変容。
- ▲ 活動が点となりがちで、金融教育を児童や教員の意識の中にしっかりと根付かせるには至っていない。

★★ 研究をとりまとめ、実践を広く紹介 ★★

金融に関するトピック教材(「お金ってなあに?」「お金を増やす方法」など)、各学年の教科学習等に付加することで金融教育が行える単元展開の例やワークシートなど、本校の実践研究をDVDに収録。

将来を意識して

- ・ どうして物が買えるか分かりました。(3年)
- ・ お金を増やせるように、1か月に使うお金を決めたいです。(6年)
- ・ 買いたい物がないから貯金箱に貯金していたけど、自分の未来のためにも大学行けるように銀行に預けたいと思いました。(4年)
- ・ 色々なお店がたくさん売っている工夫をしていることが分かりました。もし自分が売っている側だったらお客さんにとって便利なお店をつくりたいなと思っています。(3年)



金融教育が、無理なく、すぐ始められるDVDを先着80名に差し上げます。

